

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	商業科教育法 (Commercial Education)		
ナンバリングコード	K20401	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 標準レベル
単位数	4	配当学年 / 開講期	3年 / 通年
必修・選択区分	教職関係科目(必修):高等学校教諭一種免許状(商業) ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	K002401	クラス名	-
担当教員名	吉本 圭一郎		
履修上の注意、履修条件	高等学校教諭一種免許状(商業)の必修科目です。商業科の教職に就こうという強い意思をもって履修してください。そして、講義には必ず出席してください。		
教科書	『商業科教育論 21世紀の商業教育を創造する』日本商業教育学会編著(実教出版) 『高等学校学習指導要領解説 商業編』(最新版)		
参考文献及び指定図書	講義中に適宜指示します。		
関連科目	簿記入門, 経営学入門, , マーケティング論, 簿記原理, 原価計算論, 財務諸表論, 等		

○基本情報	
授業の目的	本授業では、わが国における商業教育の歴史や近年の教育改革の動向、学習指導要領の内容等を学習するとともに、模擬授業を通じて授業の実践力を涵養することを目的とします。そして将来、商業科教員として身につけておくべき資質・能力や知識、技術の習得を目指します。
授業の概要	はじめに商業教育の必要性と意義を学び、わが国の商業教育の歩みをたどります。次に高等学校学習指導要領商業編に基づき、商業教育全般についての理論と実践を学習します。具体的には、教科「商業」に関する各科目の目標や内容、指導方法、等についての理解を深め、将来商業教育に携わる教師としての資質・能力の育成に努めます。さらに、実践的指導力の基礎を養成するため、情報機器及び教材の活用についても学習したうえで、受講生による教科「商業」の模擬授業を実施します。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「演習等形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 「ディスカッション、ディベート」
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	実務経験として、一般企業において、経理決算業務等に従事していた。

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	・商業教育の必要性と意義を理解し、説明することができる。			15点
【知識・理解】	・わが国の商業教育の歴史や学習指導要領の変遷について述べることができる。 ・教科「商業」の目標及び組織について説明することができる。	50点		10点
【技能・表現・コミュニケーション】	・学習指導要領に基づいた学習指導案の作成ができ、実践的指導力の基礎を身につけている。		15点	
【思考・判断・創造】	・商業教育における人間性の大切さを理解し、述べるができる。			10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容を十分理解するとともに、将来、教師として教育に取り組んでいく姿勢や態度、知識、技能等が身についているかを評価します。 ・授業に主体的に取り組んでいるか、授業中の質問や発言、教員からの問いかけに対する応答等から評価します。 ・定期試験を実施する。商業科教育について、専門知識の理解度を評価します。 ・Sレベル:達成目標を満たしている。Aレベル:ほぼ満たしている。Bレベル:なんとか満たしている。Cレベル:一部分満たしている。 	

○その他	
授業内容についての質問は、Eメール(yoshimoto@nbu.ac.jp)でも受け付けます。	

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	商業科教育法 (Commercial Education) 吉本 圭一郎	授業コード	K002401
学修内容				
1. 授業ガイダンス, 商業教育の基本理念 シラバスを用いて本授業の進め方を説明します。その後、商業教育の基本理念について理解します。商業教育は商業に関する特定の分野の知識・技術をただ単に習得させる教育ではなく、複雑で予測困難な時代において、ビジネスの現場でそれらを活用できる力を身につけさせる実践的な教育であることを理解します。				
予習	教科書の「第1章 商業教育の意義と必要性」の「1-1 商業教育の基本理念」を熟読する。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。課題に取り組む。			約2時間
2. 商業教育の意義と必要性 学習指導要領が育成を目指す能力がコンテンツ・ベースの学力からコンピテンシー・ベースの学力の育成へと拡張してきています。ここでは商業教育におけるコンピテンシー・ベースの学力とは何かを学習し、商業教育で育む資質・能力や商業科担当教員への期待についても理解します。				
予習	教科書の「1-2 商業教育で育む資質・能力」, 「1-3 商業科担当教員への期待」を熟読する。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。課題に取り組む。			約2時間
3. 我が国における商業教育の歩み(1)新制商業教育の開始以前 我が国の商業教育の歴史について、明治期から大正期・昭和20(1945)年以前までを理解します。				
予習	教科書の「第2章 我が国における商業教育の歩み」の授業該当箇所を熟読する。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。課題に取り組む。			約2時間
4. 我が国における商業教育の歩み(2)学習指導要領(試案)以降 前回に続いて商業教育の歴史を学習します。ここでは新教育制度と商業教育、科目構成、科目名の変遷について理解します。				
予習	教科書の「第2章 我が国における商業教育の歩み」の授業該当箇所を熟読する。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。課題に取り組む。			約2時間
5. 高等学校学習指導要領と商業教育 学習指導要領の法的位置付け、平成30(2018)年告示の高等学校学習指導要領の理念、商業科の改善の視点、商業科で育成を目指す人材像、育成を目指す職業人の例と資質・能力、科目構成等の商業科の構造、商業科を学ぶことにより何ができるようになるか、そのために何をどのように学ぶかなどについて理解します。				
予習	教科書の「第3章 高等学校学習指導要領と商業教育」の授業該当箇所を熟読する。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。課題に取り組む。			約2時間
6. 商業科の教育課程の編成と実施 教育課程の意義、専門性の深化、カリキュラム・マネジメント、専門学科における各教科・科目の履修、文部科学省検定済教科用図書等の使用義務、職業資格とのつながり、各学科で育成する人材像と教育課程について理解します。				
予習	教科書の「第4章 商業科の教育課程の編成と実施」の授業該当箇所を熟読する。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。課題に取り組む。			約2時間
7. 商業科の学習指導(1)商業科教育における学習指導の理念と方向性 商業科教育における理念と方向性を考えるとき、これからの時代をどのように捉えるかが重要なポイントになります。ここでは将来起こりそうなことや起こりうることなどを整理し、商業科教育の理念と方向性について理解します。				
予習	教科書の「第5章 商業科の学習指導」の授業該当箇所を熟読する。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。課題に取り組む。			約2時間
8. 商業科の学習指導(2)商業科教育における主体的・対話的で深い学び 「主体・対話的で深い学び」とは、生徒自ら主体的に学習することによって、自ら気づきを得る力、他者と協働する力、自ら課題に対して積極的に探求する力の育成を図る学びのことです。ここでは商業科教育における主体的・対話的で深い学びについて理解します。				
予習	教科書の「第5章 商業科の学習指導」の授業該当箇所を熟読する。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。課題に取り組む。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	商業科教育法 (Commercial Education) 吉本 圭一郎	授業コード	K002401
学修内容				
9. 各分野の学習指導(1)基礎的科目 平成30(2018)年の学習指導要領の改訂では、基礎的科目は、「ビジネス基礎」、「ビジネス・コミュニケーション」の2科目で構成されています。ここでは、これら基礎的科目の構成、科目が育成を目指す資質・能力、授業改善などについて理解します。				
予習	教科書の「第6章 各分野の学習指導」の授業該当箇所を熟読する。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。課題に取り組む。			約2時間
10. 各分野の学習指導(2)マーケティング分野 平成30(2018)年の学習指導要領の改訂では、マーケティング分野に関する科目は、「マーケティング」、「商品開発と流通」、「観光ビジネス」の3科目で構成されています。ここでは、これらマーケティング分野の科目の構成、科目が育成を目指す資質・能力、授業改善などについて理解します。				
予習	教科書の「第6章 各分野の学習指導」の授業該当箇所を熟読する。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。課題に取り組む。			約2時間
11. 各分野の学習指導(3)マネジメント分野 平成30(2018)年の学習指導要領の改訂では、マネジメント分野に関する科目は、「ビジネス・マネジメント」、「グローバル経済」、「ビジネス法規」の3科目で構成されています。ここでは、これらマネジメント分野の科目の構成、科目が育成を目指す資質・能力、授業改善などについて理解します。				
予習	教科書の「第6章 各分野の学習指導」の授業該当箇所を熟読する。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。課題に取り組む。			約2時間
12. 各分野の学習指導(4)会計分野 平成30(2018)年の学習指導要領の改訂では、会計分野に関する科目は、「簿記」、「財務会計Ⅰ」、「財務会計Ⅱ」、「原価計算」、「管理会計」の5科目で構成されています。ここでは、これら会計分野の科目の構成、科目が育成を目指す資質・能力、授業改善などについて理解します。				
予習	教科書の「第6章 各分野の学習指導」の授業該当箇所を熟読する。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。課題に取り組む。			約2時間
13. 各分野の学習指導(5)ビジネス情報分野 平成30(2018)年の学習指導要領の改訂では、ビジネス情報分野に関する科目は、「情報処理」、「ソフトウェア活用」、「プログラミング」、「ネットワーク活用」、「ネットワーク情報管理」の5科目で構成されています。ここでは、これらビジネス情報分野の科目の構成、科目が育成を目指す資質・能力、授業改善などについて理解します。				
予習	教科書の「第6章 各分野の学習指導」の授業該当箇所を熟読する。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。課題に取り組む。			約2時間
14. 各分野の学習指導(6)総合的科目(課題研究, 総合実践) 平成30(2018)年の学習指導要領の改訂では、総合的科目に関する科目は「課題研究」、「総合実践」の2科目で構成されています。ここでは、これら総合的科目の構成、科目が育成を目指す資質・能力、授業改善などについて理解します。				
予習	教科書の「第6章 各分野の学習指導」の授業該当箇所を熟読する。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。課題に取り組む。			約2時間
15. 前期の振り返り ここまでの授業で学んだ内容の振り返りを行います。ディスカッションを通じて専門知識を整理、定着化し、商業科教育の理解を深めます。				
予習	教科書の第1章から第6章までを熟読する。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。課題に取り組む。			約2時間
16. 後期授業の進め方, 模擬授業割り当て 後期の授業のガイダンスを行います。また、模擬授業の分担を決め、各自の役割を理解します。				
予習	模擬授業に備えて、教科書の「第7章 指導計画の理念と作成」を熟読する。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。課題に取り組む。			約2時間

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	商業科教育法 (Commercial Education) 吉本 圭一郎	授業コード	K002401
学修内容				
17. 指導計画の理念と作成(1)指導計画の意義と作成 学習指導要領の改訂により、「主体的・対話的で深い学び」を授業において実践することが求められています。そのため授業の質の向上が求められるとともに、教員が作成する指導計画の重要性がこれまで以上に増えています。ここでは、教育課程と指導計画、指導計画の内容、年間指導計画の作成、学習指導案の作成を理解します。				
予習	教科書の「第7章 指導計画の理念と作成」の授業該当箇所を熟読する。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。課題に取り組む。			約2時間
18. 指導計画の理念と作成(2)指導計画の実施・評価・改善 前回到続いて、指導計画の実施、指導計画の評価と改善について理解します。				
予習	教科書の「第7章 指導計画の理念と作成」の授業該当箇所を熟読する。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。課題に取り組む。			約2時間
19. 模擬授業の準備(1)教材研究、とくに電子黒板など情報機器及び教材の活用方法 商業科教育における指導能力の醸成を図るため、その基礎となる教材研究について理解します。また、電子黒板などの情報機器や教材の活用方法についても学習します。				
予習	電子黒板用の模擬授業資料をパソコンで作成する。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。			約2時間
20. 模擬授業の準備(2)指導案の作成 商業科教育における指導能力の醸成を図るため、その基礎となる指導計画の作成を理解します。				
予習	教科書の「第7章 指導計画の理念と作成」の授業該当箇所を熟読する。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。課題に取り組む。			約2時間
21. 模擬授業「簿記」(1)簿記の基本 模擬授業を実践するため、担当者は指導案や板書計画等を作成します。そして模擬授業を行い、その評価、改善点等についてディスカッションします。				
予習	模擬授業用の範囲の資料を熟読する。模擬授業担当者は教員から学習指導案の添削指導を受ける。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。			約2時間
22. 模擬授業「簿記」(2)各種取引の処理 模擬授業を実践するため、担当者は指導案や板書計画等を作成します。そして模擬授業を行い、その評価、改善点等についてディスカッションします。				
予習	模擬授業用の範囲の資料を熟読する。模擬授業担当者は教員から学習指導案の添削指導を受ける。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。			約2時間
23. 模擬授業「簿記」(3)決算 模擬授業を実践するため、担当者は指導案や板書計画等を作成します。そして模擬授業を行い、その評価、改善点等についてディスカッションします。				
予習	模擬授業用の範囲の資料を熟読する。模擬授業担当者は教員から学習指導案の添削指導を受ける。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。			約2時間
24. 模擬授業「簿記」(4)財務諸表の作成 模擬授業を実践するため、担当者は指導案や板書計画等を作成します。そして模擬授業を行い、その評価、改善点等についてディスカッションします。				
予習	模擬授業用の範囲の資料を熟読する。模擬授業担当者は教員から学習指導案の添削指導を受ける。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	商業科教育法 (Commercial Education) 吉本 圭一郎	授業コード	K002401
学修内容				
25. 模擬授業「簿記」(5)会計帳簿 模擬授業を実践するため、担当者は指導案や板書計画等を作成します。そして模擬授業を行い、その評価、改善点等についてディスカッションします。				
予習	模擬授業用の範囲の資料を熟読する。模擬授業担当者は教員から学習指導案の添削指導を受ける。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。			約2時間
26. 模擬授業の振り返り これまでの模擬授業を振り返り、今後の課題についてディスカッションします。				
予習	模擬授業の資料を熟読する。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。課題に取り組む。			約2時間
27. 学習評価の理念と実際(1)評価の目的、目標に準拠した評価と評価の観点 学習評価について理解します。ここでは、評価の対象や目的、評価の時期及び評価の手法や方法などの技術的な問題を整理します。				
予習	教科書の「第8章 学習評価の理念と実際」の該当箇所を熟読する。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。課題に取り組む。			約2時間
28. 学習評価の理念と実際(2)評価の方法の工夫 引き続き学習評価について理解します。ここでは評価の理論を実際の授業でどのように活用していくべきかを理解します。				
予習	教科書の「第8章 学習評価の理念と実際」の該当箇所を熟読する。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。課題に取り組む。			約2時間
29. 魅力ある商業教育 商業高校における商業教育の魅力について理解します。先ずこれまで商業教育の果たしてきた役割や成果を整理し、次に新学習指導要領の趣旨に即して考えたとき、これからの商業教育ではどのような視点が大切になるかを理解します。そして最後に、商業教育がより魅力的であるための考えをディスカッションを通じて理解します。				
予習	教科書の「第9章 魅力ある商業教育」の該当箇所を熟読する。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。課題に取り組む。			約2時間
30. 講義のまとめ これまでの講義を振り返ります。ディスカッションを行い、知識の定着化、深化を図ります。				
予習	これまで学習してきた教科書「商業科教育論 21世紀の商業教育を創造する」を熟読する。			約2時間
復習	授業で配布した資料を復習する。			約2時間
31. 期末試験 30回までの講義内容を試験範囲とします。試験時間は60分、筆記用具以外は持ち込み不可です。				
予習				約 時間
復習				約 時間
32.				
予習				約 時間
復習				約 時間